



教育目標 はつらつと行動する 心豊かな生徒  
学校だより 令和5年5月18日発行 第2号

# 清中タイムズ



きよさと中 <http://www.kiyosato-j.or.jp/>  
#20250518



上越市立清里中学校 ☎025-528-4068 FAX025-528-3942  
URL <http://www.kiyosato-j.jorne.ed.jp/>

## 手で書くことには意義がある

校長 黒田 陽子

GIGA スクール事業が始まって、一人1台の端末（タブレット）が配布となりました。清里中では4月から毎日の持ち帰りが行われています。

インターネットを利用した調べ学習や知り得た情報をデータで共有することがスムーズに行われる一方で、手書きによる学習機会が減少しています。例えばノートに板書を写す→カメラで撮って保存する。考えやまとめを書く→タブレットに打ち込む等です。

手で文字を書くことの意義について、次のような効果があると京都大の研究グループが発見しました。

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| ○ 高度な言語力が発達する  | ○ 思考力が向上する              |
| ○ 学習のために脳を開放する | ○ 記憶形成を後押しする            |
| ○ 脳の後頭葉が活性化する  | (京都大学医学研究科 2021. 1. 26) |

手で文字を書くことに含まれる機能には

- ① 手を動かす
- ② 文字を思い出す
- ③ 書いているときの紙と筆記用具（鉛筆、シャープペン、ボールペン、毛筆等）のこすれ具合を感じる。（\*書き心地）
- ④ 書いた文字を目で見る
- ⑤ 書いた文字を覚える



等、人が脳や体を動かし、五感を使っていることがわかります。

タブレットに文字を打ち込むのも考えながら、手も動かしながらしていることなので大きな変化はないように見えます。しかし、脳は手で書いている時の方が活性化していて、幸せホルモンの一種テロトロピンをたくさん出しているそうです。これがやる気や集中力アップにつながるそうです。

書くのが苦手という人も多くいますし、タブレットに入力することで仕事の効率が図られているのも事実です。目的によって、上手に使い分けていくことが大事ですね。

## 教育実習

5月8日（月）から、国語と社会、英語の3名の実習生を迎え、26日（金）までの3週間の教育実習が始まりました。生徒にも実習生にとっても、成長するよい機会にしてほしいと思います。



# 1年生コーナー

大忙しの4月が終わりました。新しい環境、生活リズムに慣れるまではとても気を使います。ご家庭でのご支援ありがとうございました。16人そろった教室で毎朝を迎えられることが何よりでした。インフルエンザによる学級閉鎖はあったものの、4月の1年生は元気いっぱい、たくさん食べ、またよく学び、中学生の第一歩を確実に歩み始めました。何もかもが初めて、非日常な毎日を乗り越え、「清里中の日常」のベースが出来上がったので1学期の残りの期間では、一回り成長できるように支えていきます。

学級目標が決まりました！

## 『進取果敢 ～自発的・積極的・協力的なクラス～』

自らやるべきことを探り、やると決めたら徹底的にやる。そんな「進取果敢」と、学級の話合いで注目された「協力」を盛り込みました。1年間を通して一人一人がこの学級目標を達成できたと感じられるように日常を過ごし、また各行事に取り組んでいきます。

掲示作成チームにはMさん、Hさん、Kさん、Sさん、

Uさんの5人が名乗り出てくれました。朝の時間や昼休みが少なくなるかもしれませんが早速、積極的な姿勢が見られて嬉しかったです。

5月8日5限 総合的な学習の時間高田特別支援学校 梅澤先生をお招きして交流会ガイダンスを行いました。学校の様子を知ることができたので、24日㈫の交流会(オンライン)に向けて準備を進めています。



＜5月8日総合的な学習の時間＞

# 2年生コーナー

## 率先励行 ～清中生の誇りを持ち学ぼう！私たちの未来のために～ (R5 職場体験スローガン)

2年生は、5月30日から3日間、職場体験に出かけます。既にすべての事業所に事前訪問に出かけました。今年度の職場体験が例年と違う点について紹介します。1つ目は、例年夏休みに実施していた時期を大きく前倒しし、5月末からの時期にしたこと。2つ目は、学習の成果の発表会の趣旨を「お世話になった事業所のCMづくり」としたこと。7月20日の13:35から保護者の方、お世話になった事業所の方々に声をかけ、発表会を催します。生徒の自己紹介カードには「働くことの学びを深めたい。自分はやると決めたらやりきることが長所。一生懸命取り組む。」「緊張しているが、たくさん質問して学びを深め、楽しんで見てもらえるようなCM作りをしたい。」「みなさんに興味をもってもらえるCMを作りたい」「物事に対して最後まで責任をもって取り組むことができる。職場体験でも全力で取り組んでいきたい。」「担当事業所のよさがよく伝わるCMを作るとともに、皆さん以上に担当事業所を好きになる勢いで頑張る。」「少しでもこの清里をPRし、少子化対策として改善したい。定住してくれる人が増えるよう清里をPRしたい。自分は自然いっぱいの清里が好き。」「ちゃんと聞いて、ちゃんと書いて、ちゃんと挨拶！集中力がないけど、一生懸命頑張る」など、頼もしいコメントであふれていました。



＜マナー講習会＞

4月28日に、職場体験に向けて「マナー講習会」を行いました。「ビジネスマナーは思いやり」「先言後礼」などの言葉を学び、お辞儀の種類を教えてくださいました。また、「挨拶はコミュニケーションの入り口」と挨拶の大切さを学習しました。早速普段の生活の中で実践していきます。

# 3年生コーナー

## 新しい生徒会、いよいよスタートしました

4月14日に第1回専門委員会が行われました。今年  
は委員会再編により新しい委員会活動となります。

新たな仕事にまだ慣れないリーダーが多い中、精一杯  
リーダーシップを発揮しようとする生徒が多く見られ、  
素晴らしいと思います。また、生徒会本部の役員が、各  
委員会のサポートに入り、活発な生徒会活動ができるよ  
うに協力してくれています。ぼかぼか交流会は、天候に  
恵まれ、3年生が中心となって頑張り、実りの多い1日  
となりました。



<第1回委員会の様子>

## 日々とても助かっています～係活動とボランティア～

3年生としての生活が始まり、1カ月が過ぎました。この1カ月の生活を振り返りとても印象に残っていることがあります。それはクラスの足りないところを補ってくれるボランティアの存在です。さりげなく集配物を配るのを手伝ってくれる生徒、カレンダーを欠かさず変えてくれる生徒、チョークを補充してくれる生徒、ちょっとしたことですがクラスのために助けてくれる生徒の姿がとてもうれしいです。また係活動では、新たに設置した黒板係が日々欠かさず活動をしていています。他の係も自分たちの仕事を責任もって果たしてくれていて担任としてとても助かります。一人一人が協力して、気持ちのよいクラスになれるようにしていきましょう。

# P T A 総会

4月21日に、授業参観とPTA総会、学年PTAが行われました。多くの皆様からご参加いただき、議事が承認され、令和5年度のPTA活動がスタートしました。大久保龍一PTA会長様をはじめ、16名の役員の皆様、1年間、よろしくお願ひいたします。



<授業参観>



<PTA総会>



<学年PTA>

# 後援会代議員会

4月21日に、コミュニティプラザにて、第1回後援会代議員会が行われました。後援会代議員会は、例年、小中合同で行っています。小中一貫教育、小中学校教育活動について説明し、令和4年度会計決算報告、会計監査報告、令和5年度後援会組織について、令和5年度会計予算案についてなどの議事がありました。

後援会を中心に、清里区全体で中学校の活動を物心両面から支えていただき、大変感謝しています。毎月の学校だよりや生徒の姿で中学校の活動の様子を発信していきます。



# 生徒総会

今年度から、専門委員会は、顧問を決めず、必要に応じて先生からアドバイスをもらうという、生徒主体の活動に取り組んでいます。4月26日の生徒総会では、質問や意見がたくさん出て、活気ある生徒総会になりました。



<生徒総会の様子>

# 全校総合学習会

4月27日の全校総合学習会では、多くの地域の皆様からお越しいただき、「ビレッジプラン2030」の今までの取組の説明を受けた後、人プロ班（全校を八つの小グループに分けた縦割り班）で、清里区の売りや課題について話し合いました。インフルエンザが流行した時期だったので、前半は、リモートで各教室のモニターを見ながら説明を聞き、後半は、Jamboard（画面上で意見を文字で交流するソフト）で意見交換を行いました。感染症対策をしっかりとしながら、1年生「地域のよさを知る」、2年生「地域の人々の生き方に学ぶ」、3年生「地域を通して自分の将来を考える」をテーマに、総合的な学習の時間で推進していきます。



<全校総合の様子>

# 新型コロナウイルス感染症について

5月8日（月）から、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ同様「5類」になりました。主な変更点は次のとおりです。

## 1 出席停止の期間

発症した日を0日とし、5日を経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで  
(無症状の感染者は、検体を採取した日から5日を経過するまで)

## 2 かぜ症状がある場合

欠席扱いとなります。同居家族等が陽性になった場合でも、濃厚接触者の特定は行われないため、感染症が確認されていない生徒については、直ちに出席停止になりません。

なお、生徒の健康状態の把握、適切な換気、手洗い等の手指衛生、咳エチケット等の取組は、継続します。感染の有無、マスクの着用の有無により、差別や偏見、いじめ、誹謗中傷等がないよう、ご家庭においてもご配慮ください。感染の状況によっては、今までの取組を参考に感染対策を行っていきます。